

人工股関節全置換術における周術期出血量の影響因子の検討

研究協力をお願い

当科では「人工股関節全置換術における周術期出血量の影響因子の検討」という研究を日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2017 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに日本医科大学付属病院整形外科・リウマチ外科で人工股関節置換術の手術を受けられた患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、人工股関節置換術における周術期出血量に関連する因子を検討することで、出血量抑制への一助とすることです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院で実施する研究で、研究責任者は日本医科大学付属病院整形外科・リウマチ外科 植松卓哉、研究事務局は日本医科大学付属病院整形外科・リウマチ外科 坂本裕輔です。

2017 年 1 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに日本医科大学付属病院整形外科・リウマチ外科にて、人工股関節置換術を受けられた患者さんの過去の診療録、手術記録、採血データなどを解析し、周術期出血量についての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、手術時間、術中出血量、使用インプラント、術後採血結果、術後合併症など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能な整形外科・リウマチ外科医局内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報、個人が特定できる形で使用されることはありません。

作成日 : 2025 年 9 月 24 日

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 整形外科・リウマチ外科 植松卓哉

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号 : 03-3822-2131 (代表) 内線 : 24312

メールアドレス : s7013@nms.ac.jp